



## —受賞講演ならびにミニシンポジウム— ケミカルバイオロジー研究の最前線

日時：令和3年6月12日（土）13:00～ ZOOMによるオンライン発表

主催：公益社団法人 日本農芸化学会中部支部

共催：福井県立大学生物資源学部, ダイバーシティ推進委員会

参加費：無料（会員でない方も聴講歓迎）

### プログラム

13:00～ 開会の挨拶

#### 2021年度 農芸化学奨励賞 受賞講演

13:10～ 「高度に保存されたビタミン B6 結合タンパク質の機能解析と応用展開」

伊藤 智和 名古屋大学大学院生命農学研究科

#### 2021年度 農芸化学女性研究者賞 受賞講演

13:40～ 「日本農芸化学会のダイバーシティ推進の現状とこれから」

野尻 秀昭 ダイバーシティ推進委員会

13:50～ 「発酵茶製造時におけるカテキン類の酸化重合反応に関する研究」

柳瀬 笑子 岐阜大学応用生物科学部

14:20～ 休憩

#### ミニシンポジウム 「ケミカルバイオロジー研究の最前線」

14:35～ はじめに

14:40～ 「バイオイメージングによる神経細胞の形態調節機構の解析」

小西 慶幸 福井大学学術研究院工学系部門

15:10～ 「過剰なトリプトファンによるアミノ酸インバランスが細胞壁ストレス応答に及ぼす影響」

大橋 一登 群馬大学生体調節研究所

15:40～ 休憩

15:50～ 「植物病害抵抗性のプライミングにおける化学シグナルに関する研究」

藤田 萌香 福井県立大学生物資源学部

16:20～ 「新規プローブを用いた糖定量法の開発と酵素分析への応用」

日弁 隆雄 福井県立大学生物資源学部

16:50～ 閉会の挨拶



問い合わせ先：伊藤 貴文（福井県立大学生物資源学部）

Tel: 0776-61-6000, E-mail: ito-t@fpu.ac.jp

詳細は中部支部ホームページ (<http://chubu.jsbba.or.jp/>)をご覧ください。なお、今後の新型コロナウイルス感染状況ならびに自粛措置の程度によっては、プログラムの変更または中止の可能性がりますことをご承知おきください。